

大連視察ツアーに参加して

和田 龍

3/5~3/9 の日程で第 2 回大連視察ツアーに参加しました。

ビジネス面では大連の経済発展や都市計画の速さとスケール、先進技術の受容について、生活・文化面では食文化や価値観の違い、慣習について驚きや刺激を覚えることが多かったです。また、街中で日本製品や日本企業を見かける機会が多々あり、想像以上に現地の方に受け入れられているようでした。日本の製品は中国内でも「安全」や「品質」の面で一定のブランディングがされているようで、少し高価格でもニーズがあるようでした。

大連企画展示館では、大連市がこの 20~30 年で急速に発展したことを知りました。確かに、街中の車は体感で 4 割が電気自動車であり、高層ビルやマンションの外壁には宣伝用のスクリーンが取り付けられ、夜間にライトアップするなど近未来を感じさせる光景が街中にあふれていました。現地の方はここ数十年の発展を享受し、また発展に不可欠な先進技術を容易に実生活に取り入れ、そのことが企業の新たな挑戦を呼び寄せるような土壌になっているように感じました。

企業訪問では、自社で工作機械の自動化を図り、製品の工程管理システムも構築するなど、様々な点で新たなことに挑戦しようとする熱量を感じ、とても刺激になりました。枠に収まらず、様々なことを取り入れる姿勢は私も是非見習っていきたいです。また、中国の企業も「安全」や「品質」の面で日々進歩を積み重ねていることを知り、日本のものづくりにおいても成長を続けなければ今の立場すら危うくなると実感しました。

今回の視察ツアーを通じて、日本に留まっているだけでは分からなかった中国の現状や日本との違いをまざまざと感じ、そのことによって得た視座や思いを日頃の業務にも生かしていきたいと思えました。また、業務に関することばかり書き連ねましたが、食に関しても料理が美味しいのに加え、目の前でパフォーマンスしてくれた火鍋屋や北京ダック店、アルコール度数が高く独特な風味が癖になる白酒(バイジュウ)等、胃袋も心も満たされましたので、また是非大連に行きたいと思うようになりました。

最後に、ツアーではショッピングモールや市場、施設を視察し 1 日平均 18,000 歩となりました。様々な場所の日常を眺めることで中国の現状を体感できるツアー内容となっており、ツアー企画に感謝するとともに、ツアー参加者との異業種交流ができるなど満足度の高いツアーでした。ありがとうございました。